

行橋市立延永小学校学校通信
(2019年・令和元年度)

延小だより No.5

皐月 May 5月20日 発行

【学校目標】

豊かな心を育み、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

《校訓》 勤 勉

◇ めざす子ども ◇

- ☆ 思いやりの心もち、素直で明るい子ども
- ☆ 自ら意欲的に学び、すすんで汗をかく子ども
- ☆ 地域に愛される元気な子ども

運動会まで1週間！！令和元年度スローガン

さいご ぜんりょく きょうりょく えがお のぶなが こ
「最後まで全力！協力・笑顔 延永っ子」

来たる5月26日（日）は記念すべき令和最初の運動会です。その運動会の練習も今週のみとなりました。1年生にとっては初めての運動会。6年生にとっては小学校生活最後の運動会となります。どの学年の皆さんも、自分の力を100パーセント出し切り、友だちと協力し、思い出に残る運動会となるようがんばってください。

本年度の「表現」は、1・2年生 ダンス「パプリカ」、3・4年生「ソーラン節」、5・6年生「組体操」です。

延永小学校433名の力をひとつにし、観ている人に感動を与えてください。延小プライドを胸に、日ごろの練習の成果を家族や地域の方々に見ていただきましょう。

リーダーの6年生、サブリーダーの5年生のみなさん、よろしくお願いします。



チーム延永小、学級・全校のチームワークを見せよう！

命

の大切さについて



昨年度、新潟でおきた小学女児殺害事件から、5月7日で1年が経ちました。この報道をうけ、延永小学校の子どもたちの「命の重さ」「命の大切さ」を鑑み、PTA役員が中心となり、区長会の協力のもと、地域に呼びかけ、3月「延永こども見守り隊」の結成にこぎつけました。現在も登下校中に、見守り隊の方々が、延永小学校の子どもたちを見守ってくださっています。そのおかげで、隊発足以来大きな事件事故等は、延永小校区では起きていませんが、油断は禁物です。家庭のほうでも、常に「命の大切さ」について話題にしていれば幸いです。学校でも連休明けに、各学年・各クラスで「かけがえのない命」「命の大切さ」について、学年や担任の先生の言葉で、子どもたちに伝える時間を作りました。

再度確認お願い致します！！

いまだ減らない不審者（知らない人）対応は、

●大声を出す

日ごろから練習をしておきましょう

●防犯ブザーを鳴らして逃げる

すぐに鳴らせる練習をしておきましょう

●安全な場所に、すばやく逃げ込む

交番、コンビニ、「子ども110番の家」など。ちゃんと「助けて！」と言えるように

●車で追われたら進行方向と逆に走って逃げる

車は急には走る方向を変えられません



です。

本校児童に関わる不審者情報については、その都度、学校安心メールでお伝えしていますが、今後も、延永小学校の子どもの「命」を守るために、学校・家庭・地域だけではなく、警察はもちろんのこと、様々な関係機関と連携し、取り組みを進めていこうと考えています。その際、保護者の皆様のご協力が不可欠です。よろしくお願いいたします。

◇ 6月の主な行事 ◇

- 5日（水）耳鼻科検診 委員会活動
- 10日（月）リコーダー講習会（3年）
- 11日（火）風水害避難訓練
- 12日（水）プール掃除、クラブ活動
- 13日（木）内科検診
- 17日（月）1年誘拐防止教室
- 18日（火）5年生県学力調査
- 19日（水）ゆっくん来校
- 21日（金）5年生社会見学
- 24日（月）プール開き
- 27日（木）学習参観（4年親子レク）、地区懇談会



◇ 夢をかなえる ◇

ここに、ある小学六年生の作文があります。

僕の夢

僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには練習が必要です。僕は三才の時から練習を始めています。三歳から七歳までは半年くらいやっていましたが、三年生の時から今までは三百六十五日中三百六十日は激しい練習をやっています。

だから、一週間で友達と遊べる時間は五、六時間です。こんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズです。ドラフト入団で契約金は一億円以上が目標です。僕が自信のあるのは投手が打撃です。

去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そしてほとんどの投手を、見てきました。自分が大会ナンバーワン選手と確信でき、打撃では県大会四試合のうちホームラン三本を打ちました。そして全体を通じた打率は五割八分三厘でした。このように自分でも納得のいく成績でした。そして僕たちは一年間負け知らずで野球ができました。だからこの調子でこれからがんばります。

そして、僕が一流の選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って応援してもらおうのも夢の一つです。

とにかく一番大きな夢は野球選手になることです。

この作文を書いた人は、愛知県 西春日井郡 とよなり小学校 6年2組 鈴木一朗くん。ピンとききましたか？ そうです、今話題の現役大リーガー、イチロー選手の小学生のときの作文です。そして、この作文は、夢をかなえるために「何」が大事なのかを教えてください。

まず、自分の夢を迷わず素直に信じること。つまり夢に対して本気であること。

次に、自分の夢に対して代償（目標を達成するための犠牲や損害）を払う気持ちを強くもつこと。365日中360日激しい練習。友達と遊べる時間は1週間で5、6時間。そういい切る一朗少年の言葉に、少しの悔いも未練もありません。「夢をみることは重荷を背負うことだ」と松下電器（現パナソニック）創業者 松下幸之助氏は言いましたが、小学生にしてそのことをすでに体得しています。

そして最後に、お世話になった人に対して報いるという（恩返し）心を持つことです。

夢を持ち、それを実現するために頑張ることができるのは、全生物のなかでも人間だ

けです。天から授かったこの能力をふるに^{はっき}発揮する人生を送りたいものです。

イチローの取材やインタビュー等、様々な場面で発せられたイチローの言葉で、名言と言われているものも数多くあります。その一部をご紹介します。

- ・努力せずに何かできるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうだと思う。
- ・「できなくてもしょうがない」は終わってから思うことであって、途中でそれを思ったら絶対に達成できません。
- ・特別なことをするためには、普段の自分でいられることが大事です。
- ・夢をつかむというのは、^{いっき}一気にはできません。小さなことを積み重ねることです。いつの日か、信じられないような力を出せるようになっていきます。
- ・苦しいことの先に、新しいなにかが見つかると思っています。
- ・今自分にできること。^{がんば}頑張ればできそうなこと。そういうことを積み重ねていかないと遠くの目標は近づいてこない。
- ・壁というのはできる人にしかやっけない。^こ超えられる可能性がある人にしかやっけない。だから、壁があるときはチャンスだと思っている。

皆さんも「夢をかなえる」のために、今を大切に生きてください。